

35 語りかける目

一月二十三日、「私」は長田署管内の救助活動・遺体捜索に出動し、高校の体育館で遺体管理と検視業務の補助にあたっていました。そんな中で「私」の目は、焼け焦げた「ナベ」にじっと見入っている一人の少女にくぎづけになります。「ナベ」の中には小さな遺骨。少女が拾い集めた母のものだといいます。一月十六日、少女は母とともに壊れた家の下敷きになったのです。

